

新型コロナウイルス COVID-19 感染症対応ガイドライン(2020.3.30 暫定版)

長岡赤十字看護専門学校
安全管理委員会

1. 新型コロナウイルスの特徴

COVID-19(Coronavirus disease discovered in 2019,正式名称SARS-CoV-2)は,中国武漢で2019年12月に確認された新型のコロナウイルスです。

主症状は,発熱,倦怠感,咳などで,関節痛や鼻汁,咽頭痛や下痢,臭気異常,味覚異常を伴うこともあることが報告されています。

感染してもほとんどの人(80%程度)の症状は軽く,特別な治療を必要としまませんが,感染に気づかず無自覚のまま感染を広げる恐れもあります。一方で,高血圧,心臓病,糖尿病のある方は,重篤な状態になることもあるため,咳や呼吸困難がある場合は,生命の危険が伴います。

そして,いまだワクチンや有効な治療薬は開発されていません。

2. 感染経路と感染予防策

1) 感染経路

感染した人の咳など,口や鼻からの飛沫によって,人に感染します。また,その飛沫が付着した物や表面を触り,そのまま目や口,鼻などに触ることによっても感染するとされます。

新型コロナウイルスは, ステンレスやプラスチックの表面で最大 72 時間,銅の表面で最大 4 時間,ボール紙の表面では最大 24 時間生存したとされ,エアロゾルの状態では 3 時間の間生存し続けたという研究結果が報告されています(The new England Journal of Medicine,2020)。

そのため,個人および集団(クラス)で,飛沫感染,接触感染を防ぐ予防策の徹底がきわめて重要となります。

2) 感染予防策

(1) 個人で行う感染予防策

一人ひとりが自分の感染,および感染の可能性に早期に気づき,感染を他の人に広げないように,以下の感染予防策の徹底をお願いいたします。

マスク着用&咳エチケット 学校,病院だけでなく,交通機関(バスや列車)の中などでも。

石鹸を用いた手洗い(登校直後,食事前,トイレ後,実習場から戻った時,帰宅直後など)

連日,『**健康状態および感染リスクに関する自己管理票**』 ※記入 (別紙参照)

➤ **毎朝体温測定**(登校日以外も),**自覚症状**を記入。

➤ **感染リスクの高い環境** ※※への接近などの行動履歴も記入。

※ 『健康状態および感染リスクに関する自己管理票』については,個人で専用のファイルを用意し,自分で管理してください。

※※感染リスクの高い環境とは,①換気の悪い密閉空間,②人の密集する状況,③近距離での会話や発声がおこなわれる場所,空間。

- 以下の症状があるときは、学校に連絡し、自宅で休む。
 - **37.5 度以上の発熱、咳、臭覚異常、味覚異常などの症状**がある場合は、登校せず、学校に連絡すること。
 - **同居しているご家族に、発熱などの症状がある場合**も、学校に連絡し、対応を相談すること。
- 登校時、体温チェック** (学校玄関設置)の記入
 - ◎体温をその場で測定し、誰かにその値をみてもらってから記入すること。
 - ◎37.0℃以上の場合は、少し時間をおいて、再度検温する。それでも 37.0℃以上であれば、教室に行かず、教職員に相談すること。
- 休祝日、夜間においても、**不要不急の外出、感染リスクの高い環境への接近は避ける**こと。参加せざるを得ない場合は、感染を受けないよう、最大限注意すること。
- 感染が拡大している地域との往来は控える**こと。2020 年 4 月 1 日時点では、東京、大阪などとされているが、最新の情報から、感染拡大地域を確認すること。
- 学校以外のルートで感染者と接触し、「濃厚接触者」とされた方は**、学校に連絡し、指示された期間、自宅で休むこと。

(2) クラスで行う感染予防策

各クラスやグループにおいても、**集団感染を広げない**よう、以下の感染予防策の徹底をお願いします。

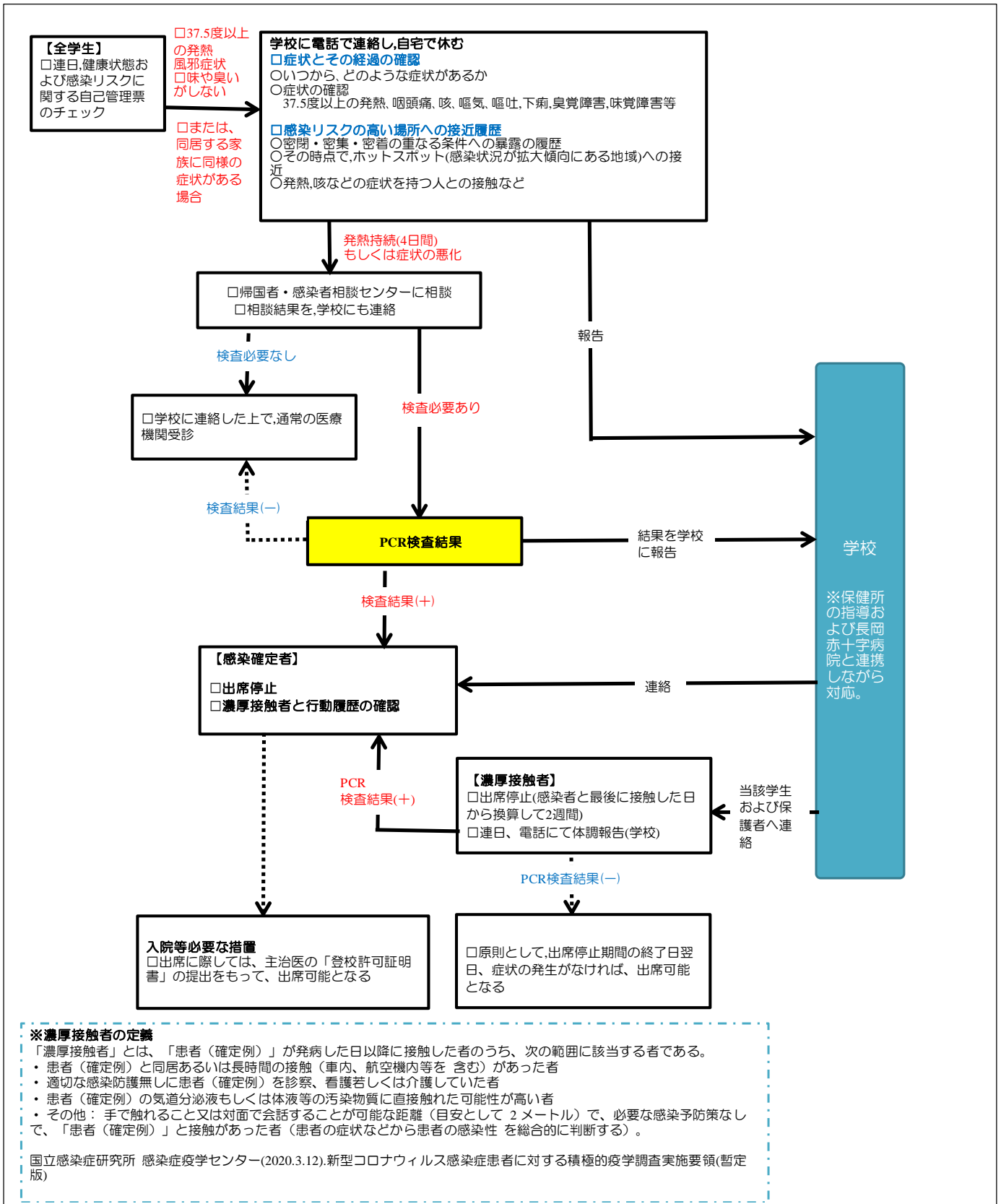
- 講義、グループワークやカンファレンス中は、窓を開ける。** 天候等により開けられない場合は、1 時間ごとに換気をおこなう。
- セイフキープ(塩化ベンザルコニウム)を用いた高頻度接触面(ドアノブ等)の清拭の徹底**
(詳細は、整美委員会 「校内清掃のお願い」)
- 昼食時、窓を開ける。** 昼食中は、机は講義形式のままとし、向かい合って、座らない。会話するときは、互いにマスクを着用する
- 食べ物、飲み物をやり取りしない
- ハンカチ、タオルなどを共用しない

3. 新型コロナウイルス発生時の対応

1) 新型コロナウイルス感染時対応フローチャート

国内の感染状況は日々拡大しており、今後感染が地方都市にも広がることが予測されます。以下フローチャートに沿って、学生・保護者の皆様・教職員が連携し、もし感染が発生した場合にも早期に発見し、対応することで、学校内での感染の拡大を最小限に留められるよう、ご協力をお願いいたします。

また、感染者発生にともなう、必要な期間の臨時休校や学級閉鎖などは、関係機関と相談の上、適時に決定し、学生および保護者の皆様に周知いたします。



※濃厚接触者の定義

- 「濃厚接触者」とは、「患者（確定例）」が発病した日以降に接触した者のうち、次の範囲に該当する者である。
- ・患者（確定例）と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機内等を含む）があった者
 - ・適切な感染防護無しに患者（確定例）を診察、看護若しくは介護していた者
 - ・患者（確定例）の気道分泌物もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者
 - ・その他：手で触れること又は対面で会話することが可能な距離（目安として2メートル）で、必要な感染予防策なしで、「患者（確定例）」と接触があった者（患者の症状などから患者の感染性を総合的に判断する）。

国立感染症研究所 感染症疫学センター(2020.3.12). 新型コロナウイルス感染症患者に対する積極的疫学調査実施要領(暫定版)

2) 感染確定者,濃厚接触者への十分な教育的配慮

感染確定者,濃厚接触者の出席停止期間においては,学業が継続できるよう十分な配慮をおこなうとともに,学校に復帰後も単位取得に必要な補習や相談等の学習支援,フォローアップをおこなっていきます。なお,感染にともなう出席停止は,「学校保健安全法第 19 条による出席停止」とし,欠席扱いにはなりません。

4. 人権尊重および個人情報保護への配慮

誰もが感染したくて感染するわけではありません。はからずも自分が感染してしまった場合は,誰しもがかなりのショックを受けることと想像されます。加えて,近年では SNS 等の普及により,誰が感染したかなど,興味本位の検索をする心ない人が少なくなく,それにより感染した人がさらにダメージを受けることが懸念されています。

万が一,感染が発生した場合,学校としては,感染拡大防止に必要な情報を,人権と個人情報保護に十分配慮し,感染したご本人,その保護者に確認をとった上で,関係する学生および保護者の皆様にお知らせしたいと考えています。そのため,これら情報に関しては,個人の人権尊重と情報保護の観点とともに,差別や偏見につながらないように,決して外に漏らさず秘密を守っていただきますようお願いいたします。

5. 心理社会的支援(こころのケア)について

感染の蔓延は,実際には感染していない人にも,様々な不安をもたらすこととなります。一方で,感染の有無にかかわらず,先の見通しを持つことは,不安を緩和し,希望をもたらす助けになります。

『COVID-19 感染者対応における心理社会的支援(学校編)-入院や自宅待機となった学生を学校(組織)とクラス(チーム)で支えるために』の小冊子は,「流行期の準備~感染者の発生~出席停止中~学校復帰後」の一連のプロセスに沿って,学校(組織),クラス(チーム),そして一人ひとりの学生(個人),それぞれができる心理社会的支援(こころのケア)の概要を示しています(学生に配布)。

感染者が発生しないことはもちろん望ましいですが,もし発生した場合にも,学校,クラス,そして一人ひとりの学生が気持ちを一つにして,保護者の皆様とも連携しながら,お互いを思いやり助けあうことで,困難を乗り越えていけたらと願っています。

【引用・参考文献,参考ガイドライン】

1. 文部科学省(2020).児童生徒等に新型コロナウイルス感染症が発生した場合の対応について(第二報).
2. 文部科学省総合教育政策局通知(2020):令和 2 年度における専門学校等の授業の開始等について.
3. 文部科学省(2020).新型コロナウイルス感染症に対応した臨時休業の実施に関するガイドライン.
4. 文部科学省(2020).「Ⅱ.新型コロナウイルス感染症に対応した臨時休業の実施に関するガイドライン」の改訂について(通知).
5. PS center(2020).Mental Health and Psychosocial Support for Staff, Volunteers and Communities in an Outbreak of Novel Coronavirus.
6. The New England Journal of medicine(2020).Aerosol and Surface Stability of SARS-CoV-2 as Compared with SARS-CoV-1, <https://www.nejm.org/doi/pdf/10.1056/NEJMc2004973?articleTools=true>